

## 指標 8.2.1

### 指標名、ターゲット及びゴール

**指標 8.2.1** 就業者一人当たりの実質 GDP の年間成長率

**ターゲット 8.2** 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

**ゴール 8** 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセントワーク）を促進する

### 定義及び根拠

#### ○ 定義

就業者一人当たり実質 GDP の年間成長率は、就業者一人当たり実質 GDP の年次変化率である。

#### ○ 概念

国内総生産（GDP）：国内総生産は、生産者による国内生産活動の結果、生み出された付加価値の総額である。

実質 GDP：国内総生産について、価格変動の影響を取り除いて評価したものである。

就業者：「従業者」と「休業者」を合わせた者。

従業者：調査週間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を1時間以上した者。

休業者：仕事を持ちながら、調査週間中に少しも仕事をしなかった者。

#### ○ 根拠及び解釈

就業者一人当たりの実質 GDP は労働生産性の指標であるため、この指標は労働生産性の成長率、すなわち生産過程における効率性や人的資本の質の進化についての情報を与えてくれる。一国の経済成長は就業者数の増加と就業者のより効率的な仕事の双方に要因付けることができるが、本指標は後者に光を当てた経済のパフォーマンスを測るものである。労働生産性の値は労働市場政策の策定や政策効果の観測において有効であり、またどのように労働市場のパフォーマンスが生活水準に影響するかの理解にも貢献する。

## データソース及び収集方法

GDPに関するデータは内閣府『国民経済計算』、就業者数に関するデータは総務省『労働力調査』による。

## 算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法  
一人当たりの実質 GDP = 実質 GDP ÷ 総就業者数
  
- コメントと限界  
なし

## データの詳細集計

この指標については詳細集計不要。

## 参考

なし

## データ提供府省

内閣府経済社会総合研究所、総務省

## 関連政策府省

内閣府、厚生労働省

## 担当国際機関

国際労働機関 (ILO)